

平成20年度事業計画書

※文化振興事業

財団法人新宮町文化振興財団の平成20年度事業計画（文化振興事業）は、次のとおりとする。

（1）芸術文化の普及及び振興

1. 大衆演劇公演

九州選抜座長大会 玄海竜二一座公演

九州演劇協会会長の玄海竜二率いる一座による特別公演。

華麗な舞踊と人情芝居。

「大衆演劇」の義理と人情、笑いと涙の世界をエネルギッシュに届けます。

そびあしんぐうでは初めての開催。

2. 講演会（トークショー）

假屋崎省吾 フラワーデモンストレーション&トークショー

美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評され、繊細かつ大胆な作風と独特の色彩感覚に定評。クリントン前米大統領来日時や天皇陛下御在位10年記念式典の花の総合プロデューサー、野村萬斎氏出演「能・狂言」の舞台美術、愛知万博「胡蝶～能とバレエの宴～」にて立花など、内外のVIPからも高い評価を得る。BGMをバックに花を活けながらのトークショー。花の舞台芸術公演。

3. アコースティックコンサート

例年、多数の来場があり評価も高いアコースティックコンサートを実施。

「夢の途中」「シルエット・ロマンス」「セカンドラブ」など、時代を超えて歌い継がれる珠玉のヒット曲を数多く生み、透明感あふれるヴォーカルが魅力のシンガー・ソングライター「来生たかお」によるコンサート。

4. 落語会

毎回好評の落語会を継続実施する。

5. クラシックコンサート

高嶋ちさ子 ミート・ザ・クラシック

「クラシックを身近なものに」と精力的に活動する高嶋ちさ子。

クラシックの名曲を中心に楽しいトークを交えた親しみやすいコンサート。

(2) 地域住民の芸術文化活動の活性化促進

1. 合唱組曲「人丸姫（仮称）」

新宮町の自然、歴史、文化、伝説といったものを感じさせる組曲を制作し、発表する。

各地で実績のある作曲家・安藤由布樹氏に依頼。

地域で活動するコーラスグループや一般公募参加者への歌唱指導等を実施のうえ、発表公演を行う。

(財)地域創造「平成20年度地域の文化・芸術活動支援事業」助成事業。

2. エンジョイ！ピアノ

大ホールの空き日を利用し、地域住民（経験者に限る）に、世界の名器「スタインウェイピアノ」での練習機会を提供する。

地域住民が、しっかり練習（引き込み）することで、お客様は「スタインウェイのグランドピアノで練習することができる」、管理者にとっては「ピアノの状態を保つことができ、かつ地域の文化活動の振興に資することができる」という趣旨のもと、平成19年度よりスタートさせた事業で、大変好評である。

平成20年度も継続実施し、月1回（年8ヶ月）の実施とする。

3. ちいき文化支援プログラム

地域で自主的に芸術文化活動を行っている方々を支援するものである。

要望も多く、また好評であるため継続実施する。

名義共催等での実施も取り入れ、当財団自主事業のみでは賅えない、地域での文化事業の実施や文化普及及び振興に資する活動に民間団体や個人と協働で取り組む。

また、スポット講座や地域で活躍する作家の展示会等の開催も検討する。

4. そぴあロビーライブ

地域で自主的に音楽活動や表現活動を行っている方々に発表する場を提供するとともに、地域住民には、気軽に音楽やパフォーマンスに触れる機会を提供する。

平成18年10月より実施してきたロビーコンサートの対象を広げて、継続実施する。

5. ピアノリレーコンサート

毎年恒例で大変好評をいただいている地域住民参加型事業であるピアノリレーコンサートを継続実施する。

今回より参加費を徴収することとし、関連企画の実施や出演記念品の進呈等を行う。

6. そぴあフェスタ2008（仮称）

文化事業を通じた地域への還元を目的として、入場無料の野外イベントを開催。

「野外上映会」や「野外演奏会」等でプログラムを構成し、賑わいのある空間を提供する。

(3) 学習活動の機会提供

1. 夏休みわくわく体験隊

将来を担う小学生にも本物の伝統芸能、舞台芸術に触れる機会を提供するため実施するバスツアー。あわせて、創作体験活動も行う。

毎年好評で5度目の実施。

(4) その他目的を達成するために必要な事業

1. 広報活動

当財団の活動や予定公演内容及びそぴあしんぐうの利用を機関紙の発行などを通して町内だけでなく、近隣市町にも幅広く広報し、芸術・文化の普及振興、新しい芸術・文化の創造などの発信地として、地域住民の芸術文化活動の活性化及び啓発を図るものである。

また、福岡県内の主な劇場によるポータルサイト「劇ナビ」での広報活動も展開する。

2. 友の会

特典付きの会員を募集する。

自主文化事業の大きな核となる組織となる。

入会日より1年間有効。